

# 設計業務委託特記仕様書

1. 事業年度： 令和7年度
2. 委託名： 市道千倉9号線外 道路詳細設計業務委託
3. 路線名： 市道千倉9号線、市道北朝夷8号線
4. 委託箇所： 南房総市千倉町北朝夷地先

## 第1章 総則

### 1.1 業務の目的

本委託業務(以下、業務という。)は、南房総市の示す方針に従い、本工事实施のための設計・調査を作成することを目的とする。

### 1.2 適用範囲

- (1) 本仕様書は、千葉県県土整備部が定める土木設計業務共通仕様書（以下、共通仕様書という。）でいう特記仕様書で、南房総市の行う業務に適用する。また、管渠の詳細設計に当たっては下水管渠実施設計業務委託標準仕様書を参考とする。
- (2) この業務の遂行にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

### 1.3 費用の負担

業務の遂行に伴い必要な費用は、本仕様書に明記ないものであっても原則として受託者負担とする。

### 1.4 法令等の遵守

受託者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

### 1.5 中立性の保持

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するように努めなければならない。

### 1.6 秘密の保持

受託者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

### 1.7 許可申請

受託者は、工事に必要な許可申請(占用許可等)に関する必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

### 1.8 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了に当たって、発注者の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- (イ)着手届 (ロ)工程表 (ハ)主任技術者届 (ニ)完了届 (ホ)納品書  
(ヘ)業務委託料請求書等

### 1.9 主任技術者及び技術者

- (1) 受託者は、主任技術者及び技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるととも

に、高度な技術を要する部門については、相当な経験を有する技術者を配置しなければならない。

(2) 受託者は、業務進捗を図るため、契約に基づく技術者を配置しなければならない。

#### 1.10 成果品の審査

(1) 受託者、業務完了時に発注者の成果品審査を受けなければならない。

(2) 成果品の審査において、明らかに受託者の責に伴う業務の契約不適合が発見された場合、受託者はただちに、当該業務の修正を行わなければならない。

#### 1.11 成果品の提出

提出すべき成果品および提出部数については次表のとおりとする。

成 果 品	規 格	部 数	備 考
・ 報告書	A4 縦	2 部	
・ 図面	A1(折込)	2 部	
・ 縮小図面	A4 縦(A3 観音開き)	1 部	
・ 電子データ	CD-R	2 枚	

(1) 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「土木設計業務等の電子納品要領（令和6年3月）：（以下、「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。

(2) 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体（CD-R）で正副2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は調査職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン【業務編】（令和6年3月）」を参考にするものとする。

(3) 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

#### 1.12 成果品の管理および帰属

成果品の管理および帰属は、すべて発注者とする。受託者が成果品を公表するについては一切これを認めない。

#### 1.13 納期

納期は契約の翌日から令和8年3月13日限りとする。

なお、納期内であっても状況により一部成果品の提出を求めることがある。

#### 1.14 証明書の交付

必要な証明及び申請書の交付は、受注者の申請による。

#### 1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合または本仕様書に定めない事項については、発注者、受託者協議の上、これを定める。

## 第2章 設計一般

### 2.1 作業内容

#### 2.1.1 道路詳細設計（L=0.22km）

- |                |           |
|----------------|-----------|
| (1) 設計計画及び施工計画 | (5) 設計図   |
| (2) 現地踏査       | (6) 数量計算  |
| (3) 平面・縦断設計    | (7) 照査    |
| (4) 横断設計       | (8) 報告書作成 |

#### 2.1.2 平面交差点詳細設計

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) 平面・縦断設計    | (5) 関係機関との協議資料作成 |
| (2) 横断設計       | (6) 数量計算         |
| (3) 交差点容量・路面標示 | (7) 照査           |
| (4) 設計図        | (8) 報告書作成        |

### 2.2 打合せ

- (1)業務実施に当たって、受託者は調査職員と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2)設計業務着手時及び設計業務の区切りにおいて、受託者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。
- (3)各関係機関協議に当たって、受託者は調査職員と密接な連絡を取り、必要に応じて協議に同行するとともに、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

### 2.3 設計基準等

業務実施に当たっては、設計を行う上でその基準となる事項について発注者と協議の上、定めるものとする。

### 2.4 設計上の疑義

設計上疑義が生じた場合、調査職員と協議の上、これらの解決に当たらなければならない。

### 2.5 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

### 2.6 参考文献等の明記

業務に文献、その他資料を引用した場合、その文献、資料名を明記しなければならない。

### 2.7 設計成果の照査

- (1)共通仕様書第 6408 条第 2 項(13)・第 6413 条第 2 項(10)に準じ照査を行うものとする。
- (2)設計における条件、基準、工法選択、方法及び成果については、適切な能力を有する者及び積算（経済比較を含む）等によって照査を行わなければならない。